

## 助成団体概要

### ■ 団体活動地域

都道府県	地域	件数	割合
北海道	厚真町	13	33.3%
	むかわ町	12	30.8%
	安平町	12	30.8%
	札幌市	2	5.1%
合計		39	100.0%

### ■ 団体活動内容

活動内容分類	件数	割合
物資の運搬、仕分け、提供	5	14.3%
サロン活動（被災者の憩いの場作り、催し事などの企画運営など）	5	14.3%
子どものケアや居場所づくり、学習支援など	5	14.3%
炊き出し	4	11.4%
被災家屋内外の片付けの手伝い、清掃	3	8.6%
避難所、仮設住宅（みなし仮設を含む）などにおける外出支援などの生活支援、見守り活動	3	8.6%
被災者同士のつながりの再生を支援する活動、コミュニティ再生	3	8.6%
傾聴などの寄り添い活動	2	5.7%
情報の収集、各種調査、情報の発信（広報誌、ブログ、ホームページ、コミュニティFMなど）に関する活動	2	5.7%
避難所の運営支援	1	2.9%
被災者の健康・衛生に関する活動（入浴、理美容など）	1	2.9%
リフレッシュ、スポーツ	1	2.9%
合計	35	100.0%

※団体によっては複数の活動地域で複数の活動を行っているため、全体の件数が応募団体数より多くなっています。

## 寄付実績

「ボラサポ・北海道」では、多くの企業・団体・市民の皆さまからのご協力をいただいています。

これまでの寄付総額 **4,646 万 8,187円**  
(2019年1月4日現在)

引き続き、皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

### ■ 寄付金の受入口座 ■

三井住友銀行 東京公務部  
普通預金 口座番号 0042262  
口座名 ● 社会福祉法人中央共同募金会

※ボラサポ・北海道への寄付金は、税制上の優遇措置（所得税、法人税）の適用対象となります。  
<根拠法令等> 所得税法第78条 法人税法第37条  
詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.akaihane.or.jp/find/tax/>

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」・北海道(ボラサポ・北海道) 報告 Vol.1

発行 2019年1月  
社会福祉法人 中央共同募金会  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
Tel ● 03-3581-3846 Fax ● 03-3581-5755  
メール ● support@c.akaihane.or.jp  
ホームページ ● [https://www.akaihane.or.jp/saigai/2018\\_july\\_gouu/](https://www.akaihane.or.jp/saigai/2018_july_gouu/)  
ボラサポFacebook ● <https://www.facebook.com/borasapo>



# 赤い羽根 「災害ボランティア・NPO活動 サポート募金」・北海道 (ボラサポ・北海道) 報告 Vol.1

「支える人を支える」しくみ



社会福祉法人 中央共同募金会

## ボラサポ・北海道とは

平成30年9月6日に発生した北海道胆振東部地震により、土砂災害に巻き込まれた住民の方が亡くなられ、多くの住宅が倒壊しました。また、液状化により道路などの損壊が相次ぎ、大規模な停電が発生するなど、多くの被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災されました皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

特に被害が甚大だった震源地の厚真、安平、むかわの3町では、災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等による、救援・復旧・復興のための支援活動が行われました。また、札幌市内でも、札幌市社会福祉協議会が取り組んできた「地域における助け合い活動」を通じて、支援活動が行われました。

北海道胆振東部地震以前から多発していた災害の影響により、被災した各地でボランティアグループやNPO等によるボランティア活動が行われていました。そうした活動を支えるために、中央共同募金会では、大阪府北部地震、平成30年7月豪雨災害と並行して、台風21号災害、平成30年北海道胆振東部地震の被災地で支援活動を実施する団体への助成事業を実施することといたしました。

## 助成概要

第1回助成の応募は10月15日から受付を開始し、18件、合計3,265万円の応募がありました。

応募のあった18団体中12団体は北海道内に所在しており、発災当初から地元の団体を中心となり、他地域の団体と連携しながら支援活動を行っていることがうかがえました。

今回の助成応募では、発災当初に必要な炊き出しや災害ボランティアセンターの運営支援、被災された方々の心や体のケアを行う足湯マッサージ、こどもの支援としてプレーパークや学習支援など、緊急支援から生活支援と多岐にわたっています。その中で、限りある助成金を活動が地元に着し、被災された方々に継続的な支援が行われることを期待して、北海道内の団体同士がつながり、協働しての活動や支援活動の担い手として大学生の参加を促す活動などに助成を決定しました。

現在、応急仮設住宅への入居がはじまっているものの、被災された方々が抱える慣れない環境や今後の生活に対する不安、みなし仮設住宅へ入居されたり、在宅避難をされている方々へ支援をどのように届けられるのか、など多くの課題が残っています。

今後は、生活支援やコミュニティ支援が必要とされていく中で、地域での支え合いが根付くことを願い、ボラサポ北海道にいただいたご寄付を、被災した3町での住民が支え合う活動に助成できるよう、しくみや体制を検討し、実施していく予定です。

### ■ 助成状況（全体状況）

	応募		助成決定		
	件数	助成額（万円）	件数	助成額（万円）	採択率（%）
第1回（短期）	4	184	2	84	50.0
第1回（中長期）	14	3,081	14	2,902	100.0
合計	18	3,265	16	2,986	88.8

第1回助成は活動日数30日以内、助成上限50万円の短期活動と活動日数31日以上、助成上限300万円の中長期活動の2つに分けて助成を行い、右記の通り助成を決定いたしました。

## 活動事例

「ボラサポ・北海道」の助成を受けて実施された活動の一部をご紹介します。

### 一般社団法人 OPEN JAPAN

OPEN JAPANは主に災害ボランティアセンターの運営サポートや重機やジャッキ、チェーンソー等を活用し倒壊した家屋、納屋、車庫から遺留品、貴重品、車両、農機具等を取り出すことによって生活再建へと繋げる活動をしています。

また、仮設住宅の入居者向けの講習会を実施したり、地元の青年会議所、災害連絡協議会、道内の支援団体やNPOと連携・情報共有を図り、技術・ノウハウを提案、継承していくことで災害支援体制の強化を図っています。



### 特定非営利活動法人 レスキューストックヤード

むかわ町役場や社会福祉協議会と連携し、避難所環境の改善や「足湯&喫茶」プログラムを通じた被災者の憩いの場づくりを行いました。また、仮設住宅設置後は、入居者の方々向けに「暮らし方講習」を開催し、東日本大震災の被災者との交流や、収納棚の取り付け支援を行っています。今後長期化する生活再建までの道のりを鑑み、地元の支援グループと共に「北海道足湯隊」を結成。被災3町の仮設住宅で「足湯&喫茶」プログラム実施のサポートを継続しています。



### 特定非営利活動法人 ezorock

特定非営利活動法人 ezorockでは、地域との地震発災前からのつながりを生かして支援活動を開始しました。初期段階では、安平町災害ボランティアセンターの立ち上げ支援。その後、子どもの居場所づくりを中心に地域と連携し、ニーズに合ったきめ細かな活動を展開。また、長期的に活動継続のため道内各地の若者と地域の接点創出、現地でのボランティア派遣・育成体制の構築の活動にボラサポの助成を活用しています。



### 一般社団法人 いっぽん

毎週土曜日に安平町追分法養寺一階大広間をお借りして、札幌から4名~6名のマッサージ師とスタッフ3名で出向き、追分住民の方々に対してのマッサージケアボランティアを行っています。また、マッサージケア後は地域住民の同氏の情報交換の場になればと思い、談話コーナーを設けています。それにより、お互いの状況確認や情報交換の場となっており、一つのコミュニティが出来てきている実感があります。活動終了後もこのコミュニティが地域の憩いの場となればと思います。

